

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公表番号】特表2006-507004(P2006-507004A)

【公表日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-009

【出願番号】特願2004-555661(P2004-555661)

【国際特許分類】

C 12 Q 1/37 (2006.01)

G 01 N 33/573 (2006.01)

【F I】

C 12 Q 1/37

G 01 N 33/573

A

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月21日(2006.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

捕捉表面上の標識した複合体の存在を検出することを含んでなる、試料中のプロテアーゼの検出方法であって、

標識した複合体が、試料から誘導され、且つ標識された阻害剤に結合したプロテアーゼを含んでなる、方法。

【請求項2】

検出可能な複合体が、特異的認識要素に結合することによって捕捉表面上に固定されており、特異的認識要素がプロテアーゼに結合してなる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

特異的認識要素免疫が、グロブリン、プロテインG、プロテインA、プロテインA/G、ペプチド、オリゴヌクレオチド、核酸、および金属キレートからなる群から選択される、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

捕捉表面が、ウェル、実質的に平坦な表面または粒子、ビーズもしくは微小球である、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

捕捉表面が、個々にアドレス可能な粒子、ビーズまたは微小球である、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

複数の捕捉表面上の複数の標識した複合体組成物を検出することを含んでなる、複数のプロテアーゼの検出方法であって、

それぞれの標識した複合体が標識した阻害剤に結合したプロテアーゼを含んでなる、方法。

【請求項7】

標識した複合体が、マルチウェルプレートまたは実質的に平坦な表面の別個の範囲に整列されている、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

捕捉表面のそれが、個々にアドレス可能な粒子、ビーズまたは微小球である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

標識した阻害剤が、比色ラベル、蛍光ラベル、化学発光ラベル、生物発光ラベル、ビオチン、ジゴキシゲニン、検出可能な炭水化物、オリゴヌクレオチド、核酸、ペプチド、ポリペプチド、タンパク質、および糖タンパク質からなる群から選択される成分で標識されてなる、請求項 4 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

プロテアーゼを含むと推測される試料を、標識した阻害剤と接触させて、標識した複合体を調製した後、捕捉表面上に固定する、請求項 4 ~ 9 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

標識した複合体が、プロテアーゼを含むと推測される試料を、捕捉表面と接触させた後、捕捉表面を標識した阻害剤と接触させることによって調製される、請求項 4 ~ 9 のいずれか一項に記載の方法。